



取扱説明書

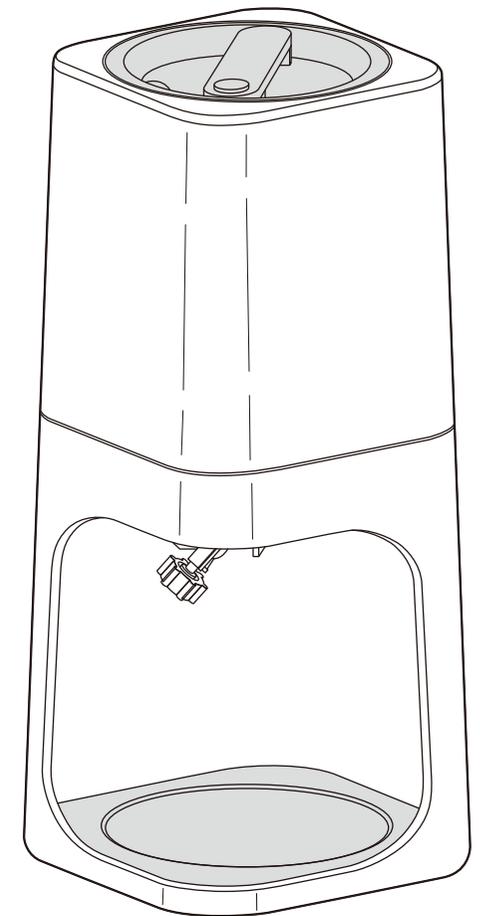
保証書付

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途での使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

電動ふわふわ氷かき器

YSIA-F25



もくじ

安全上のご注意	1~3
各部の名称	4
使いかた	5~9
かき氷のレシピ	10
お手入れと保管	11~15
各部件の取りはずしかた	11~12
各部件の取り付けかた	13~14
故障かな?と思ったら	16
仕様	17
アフターサービスについて	17
MEMO	18
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社氷かき器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

この製品についてのお取り扱いお手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル **0570-077-078**

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

●FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

●FAXでの **0120-680-287**

●Eメールでの **info_m@yamazen.co.jp**

株式会社 **山善** 家庭機器事業部

〒550-8660 大阪市西区立売堀3丁目2番5号

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 〇記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

 ①記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

 **交流100V以外での使用、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない**
禁止
●延長コードやタコ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えると、感電や異常発熱して、発火・火災の原因になります。

 **分解、修理、改造をしない**
分解禁止
●火災・感電・けがの原因になります。
※修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

 **電源コードや電源プラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
禁止
●感電・ショート・火災の原因になります。

 **異常、故障、破損があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する**
指示に従う
●火災・感電・けがの原因になります。
※異常・故障例
17ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか？」を参照し、異常がある場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

 **電源プラグは、根元まで確実に差し込む**
指示に従う
●感電・発熱・火災の原因になります。

 **定期的に電源プラグのほこりをふき取る**
指示に従う
●電源プラグにほこりなどがたまると湿気などで絶縁不良となり、感電・ショート・火災の原因になります。
※電源プラグのほこりは、乾いた布でふき取ってください。

 **使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
プラグを抜く
●けがや絶縁劣化による、感電・漏電・火災の原因になります。

 **氷ケース・氷押さえ・本体の取りつけや取りはずし、お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く**
プラグを抜く
●不意に動作してけがをしたり、感電・ショートの原因になります。

 **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
ぬれ手禁止
●感電・ショート・けがの原因になります。

警告

 **電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり引っ張ったり、たばねて使用しない**
禁止
●感電・火災の原因になります。
※結束バンドは必ずはずしてください。

 **電源コードの上に重いものや本体をのせたり、挟み込まない**
禁止
●電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

 **本体を水に入れたり、水をかけたり丸洗いをしない**
水ぬれ禁止
●故障・感電・ショート・火災の原因になります。

 **安全スイッチを指や棒などで押さない**
禁止
●不意に動作してけがをしたり、故障の原因になります。

 **すき間や開口部にピンや針金などの異物を入れない**
禁止
●感電・けが・故障の原因になります。

 **氷以外のものを入れたり、削ったりしない**
禁止
●けが・破損・故障の原因になります。
※氷を削る以外の目的で使用しないでください。

 **運転中に本体の取りはずしをしない**
禁止
●けが・故障の原因になります。

 **削り残った氷を取り出すときやお手入れのときは、カッター刃や氷押さえのスパイクに注意する**
指示に従う
●けがの原因になります。

 **お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない
乳幼児の手の届く場所で使用したり保管しない**
禁止
●感電・けがの原因になります。

 **カッター刃や氷押さえのスパイクは鋭利なので直接手で触れない**
接触禁止
●けがの原因になります。

 **包装用ポリ袋は、お子さまの手の届かない場所に保管する**
指示に従う
●誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息する原因になります。

 **カッター刃の取りつけネジは絶対にゆるめない**
禁止
●けが・故障の原因になります。
※カッター刃を調節するときは、調節つまみで調節してください。

注意

 **定格時間2分以上の連続運転はおこなわない**
禁止
●安全装置がはたらいて運転できなくなることがあります。

 **電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない**
禁止
●感電・ショート・発火の原因になります。
※必ず電源プラグを持って引き抜いてください。

 **電源コードを持って本体を引っ張らない**
禁止
●設置場所が傷ついたり、破損・故障・発火の原因になります。

 **運転が完全に停止したのを確認してから電源プラグを抜き差しする**
指示に従う
●けが・故障の原因になります。

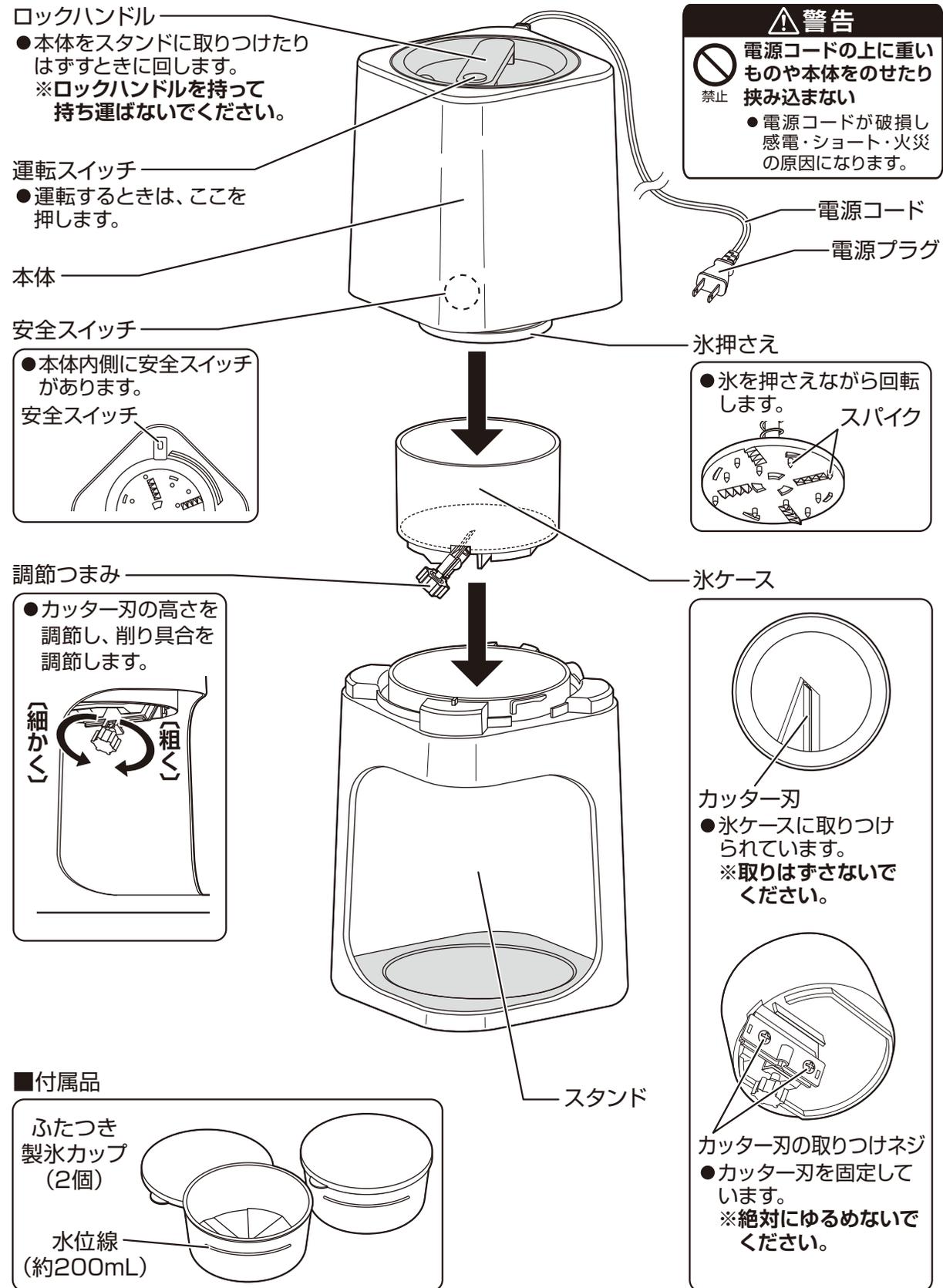
 **付属の製氷カップを電子レンジ・オープンレンジ・食器洗い乾燥機で使用しない**
禁止
●やけど・変形・破損の原因になります。

 **冷凍庫から取り出したばかりの氷に直接触れない**
禁止
●氷が皮膚に密着し、けがの原因になります。

⚠️ 注意

- | | |
|---|---|
| <p>禁止 付属の製氷カップ以外で作った氷を入れて削らない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 破損・故障の原因になります。 ※市販のロックアイスや家庭用冷凍庫の製氷皿で作った角氷は削らないでください。 | <p>指示に従う うなるような運転音がしたり、氷が削れず停止したときは、すぐに運転を中止する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 故障・けがの原因になります。 |
| <p>禁止 40℃以上のお湯で氷押さえ・氷ケース・スタンド・製氷カップを洗ったり、熱い食材を入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 変色・変形・破損の原因になります。 | <p>禁止 氷ケース・氷押さえ・本体を取りつけていない状態で運転しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● けが・故障の原因になります。 ※氷ケース・氷押さえ・本体を確実に取り付け、氷を入れてから運転してください。 |
| <p>禁止 次のような場所では使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 故障・感電・ショート・火災・爆発の原因になります。 ● 火気（コンロやストーブ）など熱源の近くや直射日光のあたる所 ● 高温（40℃以上）になる所 ● 厨房や工場などの油や油煙が発生する所 ● ほこりや金属粉の多い所 ● 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものがある所 | <p>指示に従う 安定した水平な場所で使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不安定な場所で使用すると落下や転倒して、破損・故障・けがの原因になります。 |
| <p>禁止 水しぶきや蒸気が直接本体にかかる場所で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 故障・感電・ショートの原因になります。 | <p>禁止 氷を入れたまま本体を倒したり、さかさまに持ったり、置いたりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本体に水が入り、感電・故障の原因になります。 |
| <p>禁止 運転中に持ち運ばない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● けが・故障の原因になります。 | <p>指示に従う 持ち運ぶときは、本体とスタンドをしっかりとっておこなう</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 落下すると破損・故障・感電・けがの原因になります。 ※ロックハンドルを持って、持ち運ばないでください。 |
| <p>禁止 落としたり、強い衝撃を与えない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 破損・故障・感電・けがの原因になります。 | <p>禁止 本製品は一般家庭用です絶対に業務用には使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本製品に無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。 |
| <p>禁止 掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹きつけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 破損・故障・けがの原因になります。 | <p>指示に従う お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきんなどは使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 破損・故障・けがの原因になります。 ※お手入れは11～15ページの「お手入れと保管」を参照してください。 |

各部の名称



使いかた

※はじめてご使用になるときは、11～15ページの「お手入れと保管」を参照して各部品を取りはずし、各部品と製氷カップを水洗いしてください。

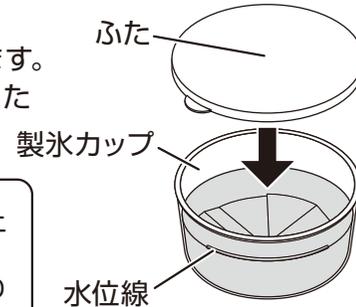
氷を作る

1 調理物を付属の製氷カップに入れる

- 10ページの「かき氷のレシピ」を参照し、食材を調理します。
- 製氷カップの水位線（約200mL）まで調理物を入れ、ふたをして冷凍庫に入れます。

ご使用上の注意

※氷を作るときは、付属の製氷カップの水位線（約200mL）以上調理物を入れしないでください。
凍ったとき膨張して製氷カップが破損したり、氷が厚くなり本体が取り付けにくくなる原因になります。



2 十分に凍らせてから、製氷カップを冷凍庫から取り出す

- 製氷カップを冷凍庫から取り出し、調理物が十分に凍っているか確認します。

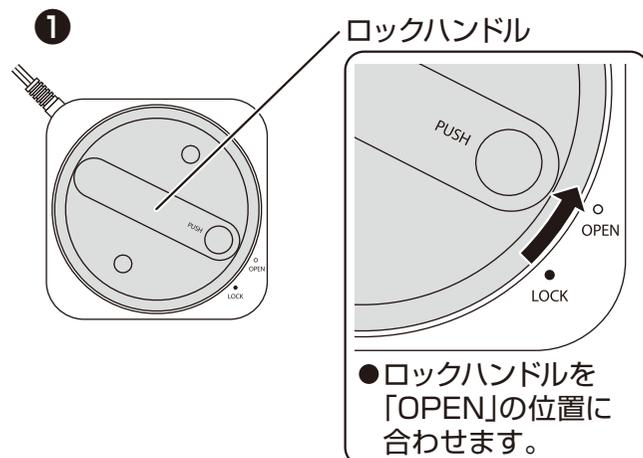
ご使用上の注意

※十分に凍っていない状態の氷を削ると、水っぽいかき氷ができたり、氷がカラ回りして削れない場合がありますので、十分に凍らせてください。
水だけで作る氷よりも調理物で作る氷は、糖分が入っているため十分に凍るまで時間がかかることがあります。
※凍った状態で長時間冷凍庫で保存すると、霜がついてかき氷に適した氷ではなくなります。凍ったらできるかぎり早く削ってください。

かき氷を作る

1 スタンドから本体を取りはずす

- 1 下図を参照し、ロックハンドルを「OPEN」の位置に合わせます。
- 2 スタンドを手で押さえ、本体を持ち上げて取りはずします。



使いかた

2 カッター刃の高さを低くする

- 右図を参照し、氷ケースの調節つまみを左（反時計回り）に止まるまで回し、カッター刃を一番低い位置まで調節します。

お知らせ

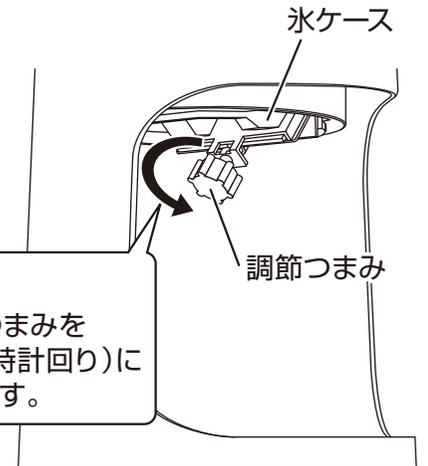
- カッター刃が氷を押し上げて本体が取り付けにくくなったり、カッター刃が氷に引っかかりモーターに負担がかかるのを防止するために、カッター刃の高さを低く調節します。

警告

カッター刃や氷押さえのスパイクは鋭利なので直接手で触れない
●けがの原因になります。

細かく

- 調節つまみを左（反時計回り）に回します。



3 氷ケースに氷を入れる

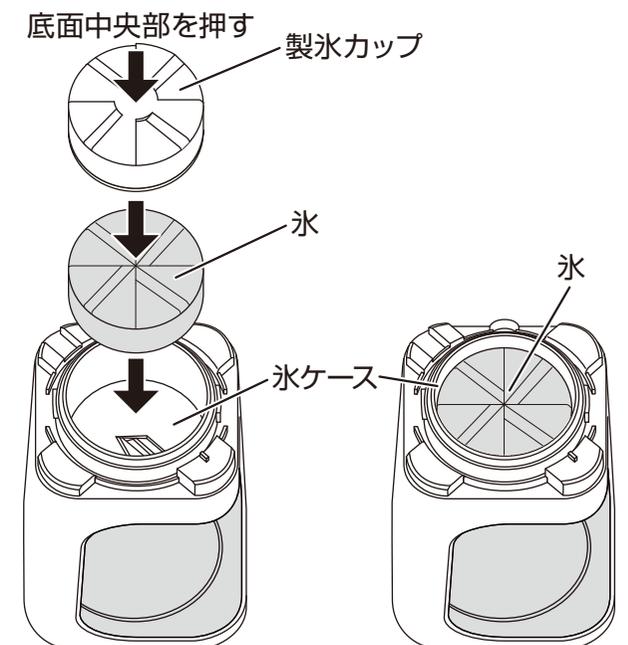
- 製氷カップのふたをはずし、製氷カップを裏返して氷を押し出し、氷ケースに氷を入れます。
※氷を押し出すときは、製氷カップの底面中央部を指で押してください。
- 氷が押し出しにくいときは、製氷カップの外側を温めると取り出しやすくなります。

ご使用上の注意

※製氷カップから氷を取り出すときは製氷カップをたたきつけたりしないでください。
※氷を氷ケースに入れるときは、製氷カップの底面側が上になるように入れてください。
（製氷カップ底面の凹凸の形がある方が上になるように入れる）
※水だけで作る氷と比べて、調理物で作る氷は、糖分が入っているため柔らかく溶けやすいので冷凍庫から取り出したらずぐに削ってください。

警告

氷以外のものを入れたり、削ったりしない
●けが・破損・故障の原因になります。
※氷を削る以外の目的で使用しないでください。



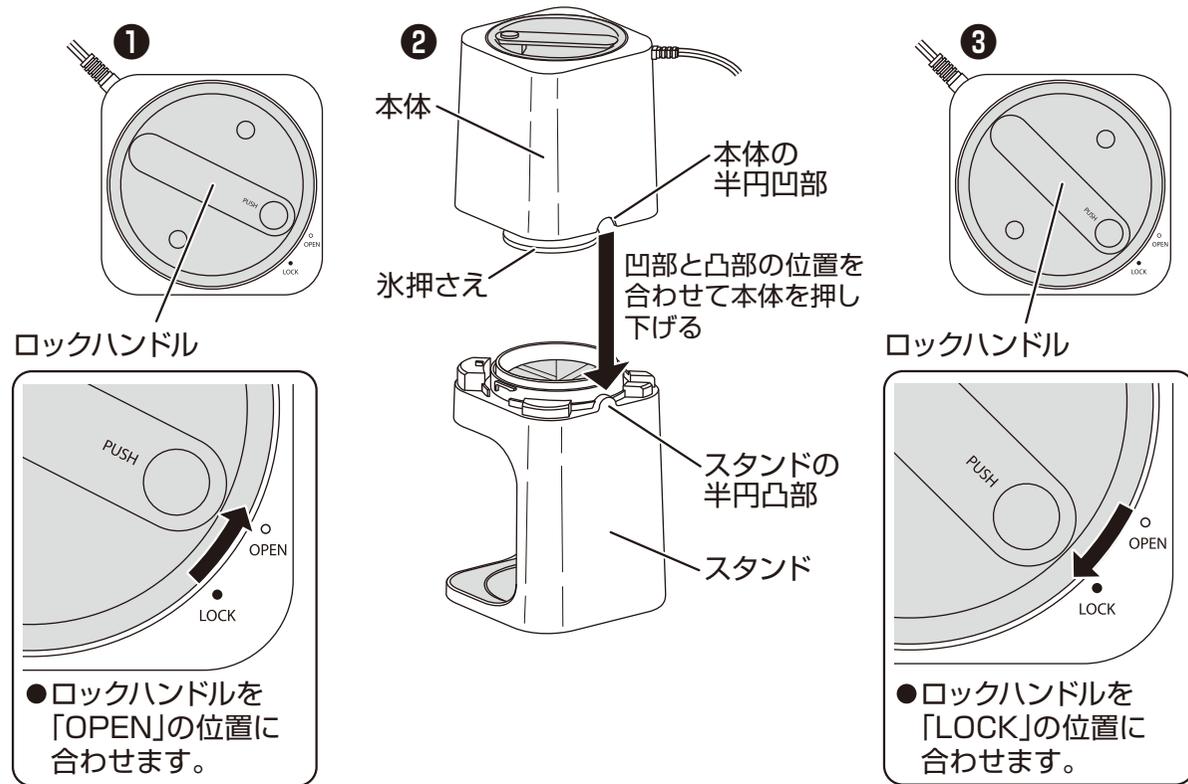
使いかた

4 本体をスタンドに取りつける

- ① 下図を参照し、ロックハンドルを「OPEN」の位置に合わせます。
- ② 本体を手でしっかり持ち、本体の半円凹部とスタンドの半円凸部の位置を合わせ、氷押さえで氷を押さえつけながら、本体をスタンドに押し下げます。
- ③ 本体とスタンドが密着するまで押し下げたら、ロックハンドルを「LOCK」の位置に合わせ本体を固定します。

ご使用上の注意

※本体とスタンドは確実に取りつけてください。
ばねの反発力で氷を押さええているため、本体とスタンドが確実に取り付けられていないと本体が勢いよくはずれる場合があります。



5 電源コードの結束バンドを必ずはずし、電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込みます。

ご使用上の注意

※運転スイッチを押した状態で電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
急に動作してけがの原因になります。

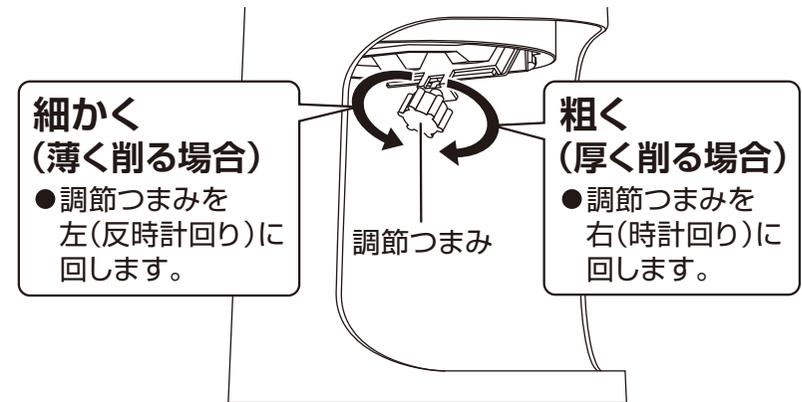
使いかた

6 氷の削れ具合を調節する(カッター刃の高さを調節する)

- スタンドに受け皿を置きます。
- 運転スイッチを押して氷を削りながら、カッター刃の高さを調節します。
(運転スイッチを押している間だけ運転します)
※下図を参照し、調節つまみをゆっくり回して薄くスライス状に削れるように調節してください。
- ◎本書の前項でカッター刃を一番低く調節しているため、最初は氷が削れませんがカッター刃の高さを調節することで徐々に削れます。

ご使用上の注意

※カッター刃が高すぎる状態で氷を削ると、うなるような運転音がしたり、氷が削れなかったりしてモーターに負荷がかかり、故障の原因になりますのでカッター刃が高くなりすぎないように注意してください。



7 調理する(氷を削る)

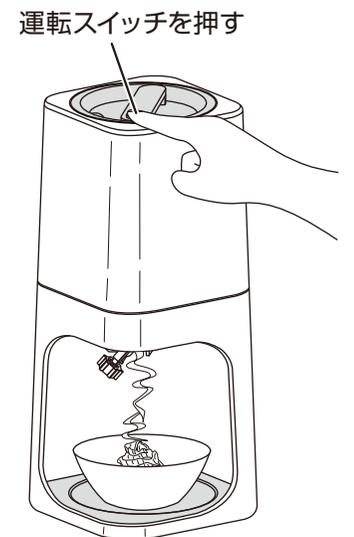
- 運転スイッチを押して氷を削ります。
- かき氷が片寄る場合は、受け皿を回転させながら削ります。

ご使用上の注意

※氷の状態やレシピにより、削れ具合が異なる場合がありますので必要に応じてカッター刃の高さを調節してください。
※氷がなくなっても、自動的に運転が止まりませんので、氷が削れなくなったらすぐに運転を停止してください。
※削った氷が受け皿からこぼれることがあるので、ぬれても良い場所か受け皿の下にふきんなどを敷いて削ってください。

注意

- ⊘ 定格時間2分以上の連続運転はおこなわない
●安全装置がはたらいて運転できなくなることがあります。
禁止
- ! うなるような運転音がしたり、氷が削れず停止したときはすぐに運転を中止する
●故障・けがの原因になります。
指示に従う



使いかた

8 削り終わったら電源プラグをコンセントから抜く

- 運転が完全に停止したのを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。

9 スタンドから本体を取りはずし、氷ケースに残った氷を捨てる

- ① 下図を参照し、ロックハンドルを「OPEN」の位置に合わせます。
- ② スタンドを手で押さえ、本体を持ち上げて取りはずします。
- ③ スタンドを手で押さえ、氷ケースを上を引き抜いて取りはずし、残った氷を捨てます。

知っておいていただきたいこと

- 本製品の構造上、氷が薄く削り残りますが故障ではありません。
※ 続けて氷を削るときは、残っている氷を必ず捨て新しい氷を入れて削ってください。
削れ残った氷の上に新しい氷を入れて削ると、氷がカラ回りして削れません。

ご使用上の注意

- ※ 使用後は、氷押さえなどに付着した水が垂れることがありますので、ふきんなどの上に置いて水切りをしてください。

警告



指示に従う

削り残った氷を取り出すときやお手入れのときは、カッター刃や氷押さえのスパイクに注意する

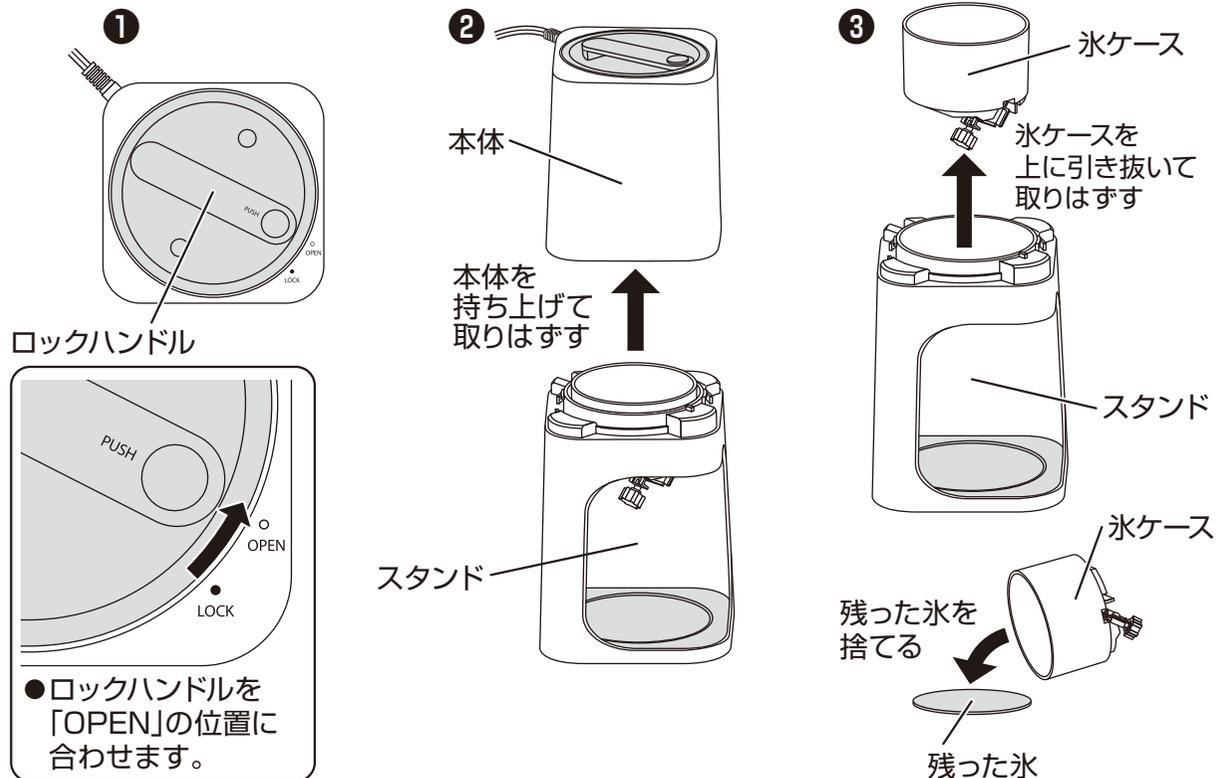
- けがの原因になります。



禁止

運転中に本体の取りはずしをしない

- けが・故障の原因になります。



かき氷のレシピ

■マンゴー

材 料	作りかた
マンゴー……………160g 練乳……………10g 水……………30mL	①マンゴーと水を合わせミキサーにかけます。 ②小鍋に①と練乳を入れ弱火にかけ、練乳が溶けるまでよく混ぜます。 ③常温に冷まし、付属の製氷カップに入れて凍らせます。 ④十分に凍ったら冷凍庫から出し、すぐに削ります。

■ストロベリー

材 料	作りかた
冷凍イチゴ……………160g イチゴジャム……………30g 練乳……………10g 水……………30mL	①イチゴと水を合わせミキサーにかけます。 ②小鍋に①、イチゴジャム、練乳を入れ弱火にかけ、イチゴジャムと練乳が溶けるまでよく混ぜます。 ③常温に冷まし、付属の製氷カップに入れて凍らせます。 ④十分に凍ったら冷凍庫から出し、すぐに削ります。

■抹茶

材 料	作りかた
抹茶粉……………10g 牛乳……………170mL 砂糖……………20g	①抹茶粉と牛乳を合わせよく混ぜます。 ②小鍋に①と砂糖を入れ弱火にかけ、砂糖が溶けるまでよく混ぜます。 ③常温に冷まし、付属の製氷カップに入れて凍らせます。 ④十分に凍ったら冷凍庫から出し、すぐに削ります。

■リッチミルク

材 料	作りかた
牛乳……………170mL 練乳……………30g	①小鍋に牛乳と練乳を入れ弱火にかけ、練乳が溶けるまでよく混ぜます。 ②常温に冷まし、付属の製氷カップに入れて凍らせます。 ③十分に凍ったら冷凍庫から出し、すぐに削ります。

■ミルクティー

材 料	作りかた
紅茶のティーバッグ…2包 牛乳……………180mL 砂糖……………40g	①あたためた牛乳に紅茶のティーバッグを入れ、紅茶を抽出します。 ②抽出が終わったら①に砂糖を入れ、溶けるまでよく混ぜます。 ③常温に冷まし、付属の製氷カップに入れて凍らせます。 ④十分に凍ったら冷凍庫から出し、すぐに削ります。

■ふわふわかき氷を作るために

- 食材が分離しないようによく混ぜる
- 凍らせる前に表面の泡はできるかぎり取り除く
- 十分凍らせる
- 氷の状態やレシピに合わせて、削り具合（カッターの高さ）を調節する
※ 氷の状態やレシピにより、削れ具合が異なる場合がありますので、必要に応じて調節してください。

■お知らせ

- お好みにより、できあがったかき氷にさらに練乳をかけたり、果物をトッピングして楽しみください。
- 水のみを凍らせてかき氷を作ることもできますが、薄く削れず細かい粒状に削れます。

お手入れと保管

お手入れや移動のときは、電源プラグをコンセントから抜いておこないます。氷かき器は、食品に触れる調理器具のため、いつも清潔な状態で使用します。

※ご使用後は必ずお手入れをおこなってください。

下記(11~12ページ)を参照して各部品を取りはずし、けがなどを防止するためゴム手袋などを着用しておこなってください。

警告

 氷ケース・氷押さえ・本体の取り付けや取りはずし、お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く プラグを抜く ● 不意に動作してけがをしたり、感電・ショートの原因になります。	
 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ● 感電・ショート・けがの原因になります。	 本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない ● 故障・感電・ショート・火災の原因になります。

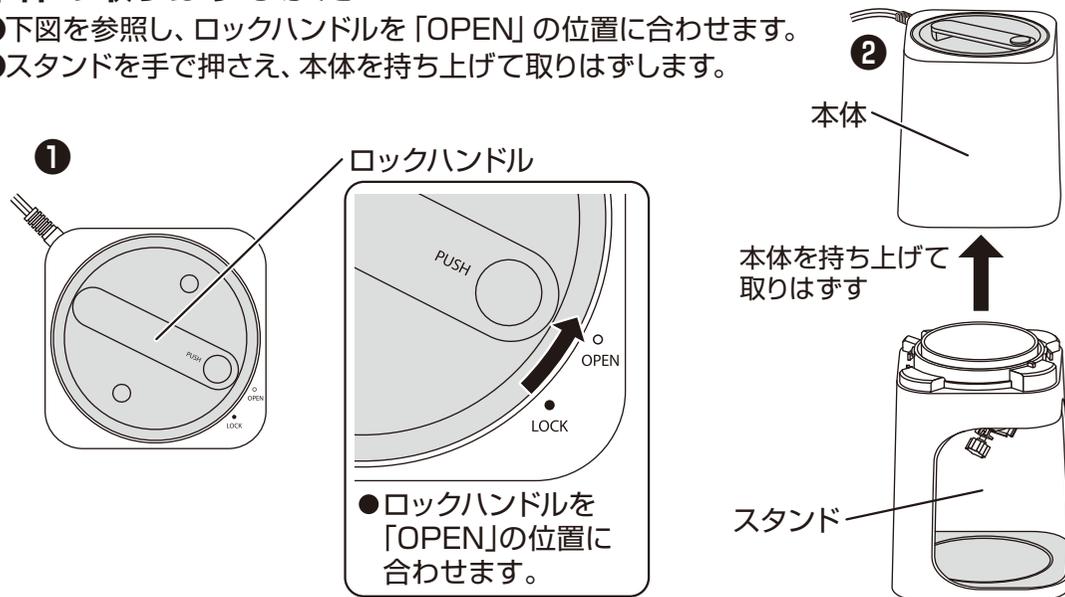
注意

 40℃以上のお湯で氷押さえ・氷ケース・スタンド・製氷カップを洗ったり、熱い食材を入れない ● 変色・変形・破損の原因になります。	 掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹きつけない ● 破損・故障・けがの原因になります。
 お手入れにはシンナー・ベンジン・みかき粉・たわし・化学ぞうきんなどは使用しない ● 破損・故障・けがの原因になります。	 掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹きつけない ● 破損・故障・けがの原因になります。

各部品の取りはずしかた

■本体の取りはずしかた

- ①下図を参照し、ロックハンドルを「OPEN」の位置に合わせます。
- ②スタンドを手で押さえ、本体を持ち上げて取りはずします。



お手入れと保管

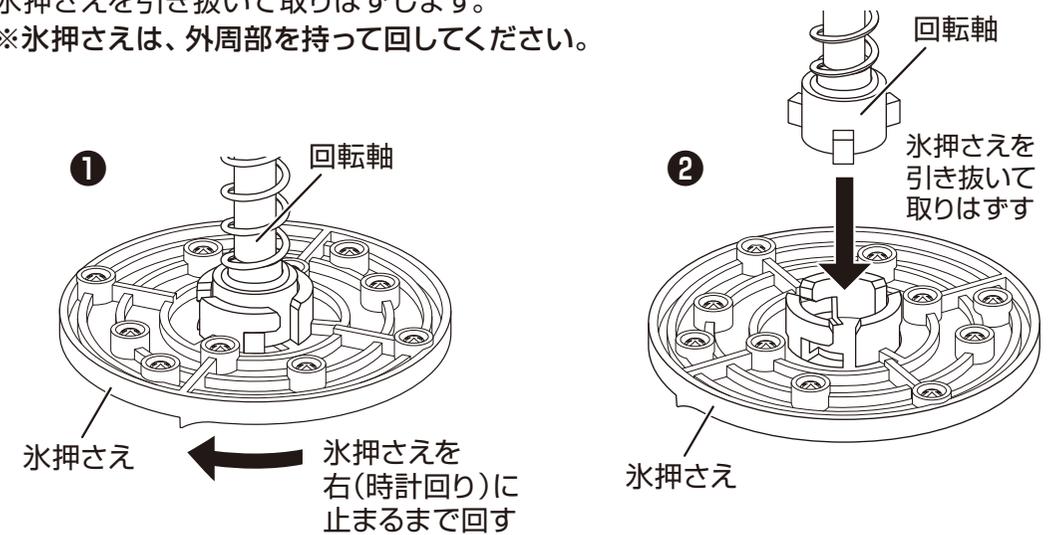
各部品の取りはずしかた

警告

 **カッター刃や氷押さえのスパイクは鋭利なので直接手で触れない**
 ●けがの原因になります。
 接触禁止

■氷押さえの取りはずしかた

- ①本体を手でしっかり持ち、氷押さえを右(時計回り)に止まるまで回します。
- ②氷押さえを引き抜いて取りはずします。
 ※氷押さえは、外周部を持って回してください。



■氷ケースの取りはずしかた

- スタンドを手で押さえ、氷ケースを上引き抜いて取りはずします。



お手入れと保管

各商品の取り付けかた

警告

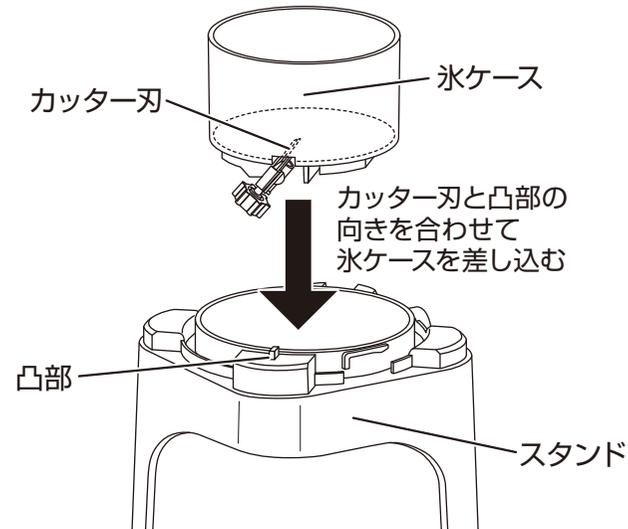


カッター刃や氷押さえのスパイクは鋭利なので直接手で触れない
●けがの原因になります。

接触禁止

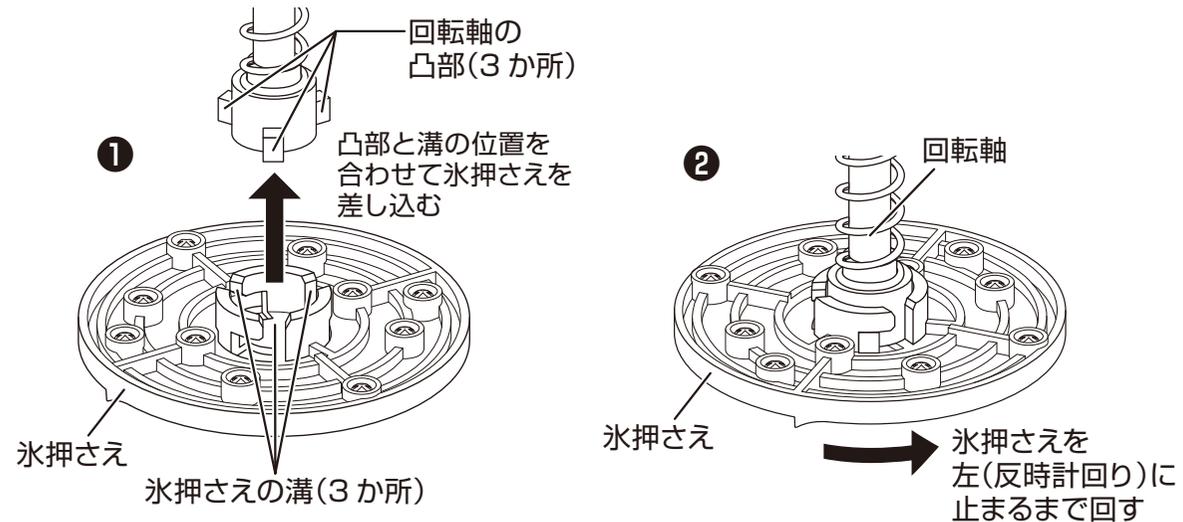
■氷ケースの取り付けかた

●下図を参照し、スタンドの凸部に氷ケースのカッター刃側を向けて差し込みます。



■氷押さえの取り付けかた

- 1 下図を参照し、氷押さえの溝 (3か所) と回転軸の凸部 (3か所) の位置を合わせて差し込みます。
- 2 本体を手でしっかり持ち、氷押さえを左 (反時計回り) に止まるまで回して、確実に取り付けます。
※氷押さえは、外周部を持って回してください。

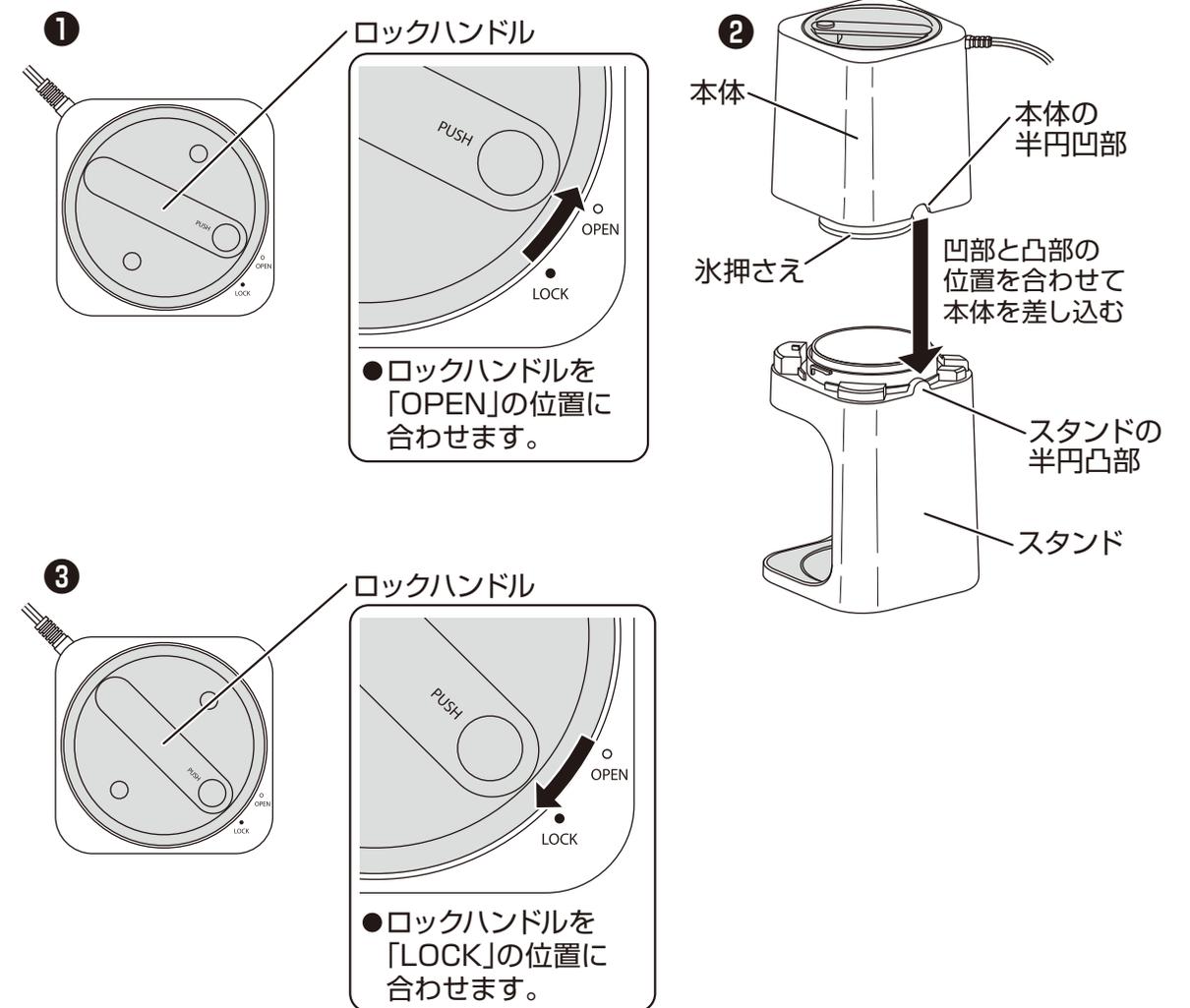


お手入れと保管

各商品の取り付けかた

■本体の取り付けかた

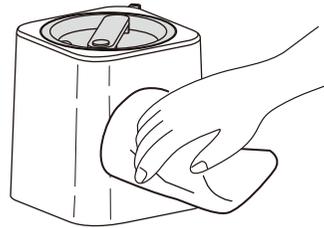
- 1 下図を参照し、ロックハンドルを「OPEN」の位置に合わせます。
- 2 本体を手でしっかり持ち、本体の半円凹部とスタンドの半円凸部の位置を合わせ、本体をスタンドに差し込みます。
- 3 本体とスタンドが密着したら、ロックハンドルを「LOCK」の位置に合わせ本体を固定します。



お手入れと保管

■本体 ※丸洗いは絶対しない

- 水に浸した柔らかいふきんをよくしぼって汚れをふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。



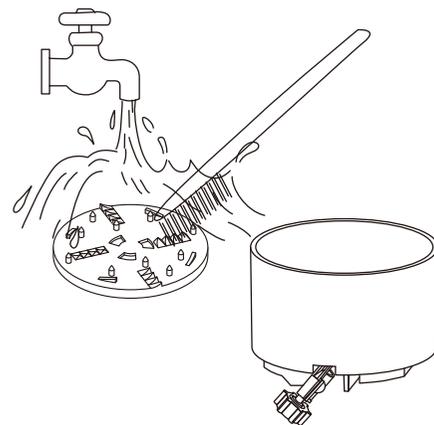
■スタンド・製氷カップ ※丸洗いできます

- 食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかいふきんで水分をふき取って乾燥させます。



■氷ケース・氷押さえ ※丸洗いできます

- 食器用中性洗剤をブラシに数滴つけて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し乾燥させます。



警告

カッター刃や氷押さえのスパイクは鋭利なので直接手で触れない
● けがの原因になります。

接触禁止

■保管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れしたあとよく乾燥させ、カッター刃に食用油をうすく塗ってから、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。
(湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります)

故障かな?と思ったら 次の点検をおこなってください。

症状	原因	処置
運転しない	● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	● 電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
	● 本体とスタンドが確実に取り付けられていますか?	● 本体とスタンドを確実に取りつけないと運転できませんので、確実に取り付けてください。
	● 2分以上連続運転をしていませんか?	● モーターに負担がかかり安全装置がはたらいて運転できなくなっている場合があります。お買い上げの販売店に、点検・修理をご相談ください。
氷が削れない	● カッター刃が低くすぎるまたは高すぎて氷が削れない状態になっていませんか?	● 8ページを参照して薄くスライス状に削れるようにカッター刃を調節してください。
	● 氷ケースに削れずに残った氷が入ったまま、新しい氷を入れていませんか?	● 残った氷を必ず捨ててから新しい氷を入れてください。
	● 氷押さえがカラ回りしていませんか?	● 一度スタンドから本体を取りはずし再度取りつけないおしてください。
	● 十分に凍っていない状態で削っていませんか? または柔らかくなった氷を削っていませんか?	● 糖分が多いと凍りにくく溶けやすいので、うまく削れないことがあります。そのような場合は、時間をかけて十分に凍らせるか、糖分を減らして氷を作り冷凍庫から取り出したら、すぐに削ってください。
	● 市販のロックアイスや家庭用冷凍庫の製氷皿で作った角氷を入れていませんか?	● 本製品では削れません。
ふわふわに削れない	● カッター刃の高さを調節していますか?	● 8ページを参照して薄くスライス状に削れるようにカッター刃を調節してください。
	● 氷ケースとカッター刃のすき間に削った氷が詰まっていますか?	● 氷ケースを取りはずし、詰まった氷を取り除いてから再度削ってください。
	● 水だけで凍らせた氷を使っていますか?	● 水だけの氷は薄く削れず細かい粒状に削れます。
モーターの回転が遅い モーターがうるような運転音がする	● カッター刃が高すぎて粗く(厚く)削りすぎていませんか?	● 8ページを参照して薄く削れるようにカッター刃を調節してください。 ※うるような運転音がしたまま運転を続けると故障の原因になります。
	● カッター刃が高すぎて氷が回らない状態になっていませんか?	
スタンドに本体を取りつけることができない	● 付属の製氷カップ以外で作った氷を使用していますか?	● 必ず付属の製氷カップで作った氷を使用してください。
	● 氷ケースに削れずに残った氷が入ったまま、新しい氷を入れていませんか?	● 残った氷を必ず捨ててから新しい氷を入れてください。
振動が大きい	● 回転軸が変形していませんか?	● お買い上げの販売店に、点検・修理をご相談ください。

規格銘板
W65mm×H110mm

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みください。

⚠ 警告	
⚡	感電のおそれあり ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 ●本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない。
⚠	けがのおそれあり ●氷ケース・氷押さえ・本体の取りつけや取りはずし、お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ●カッター刃や氷押さえのスパイクは鋭利なので直接手で触れない。 ●お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない
⚠ 注意	
⚠	破損・故障のおそれあり ●氷を入れたまま本体を倒したり、さかさまに持ったり、置いたりしない。 ●ロックハンドルを持って持ち運ばない。
電動ふわふわ氷かき器 YSIA-F25  MUSEE 100V 50-60Hz  25W 定格時間 2分	この製品についてのお問い合わせは 「山善 家電お客様サービス係」 ●お電話(ナビダイヤル) ☎0570-077-078 ●Eメール info_m@yamazen.co.jp
2分以上の連続運転はおこなわない	
電流ヒューズ 1.6A 株式会社 山善 2018年製	
No.	MADE IN CHINA

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みください。

⚠ 警告	
⚡	感電のおそれあり ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 ●本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない。
⚠	けがのおそれあり ●氷ケース・氷押さえ・本体の取りつけや取りはずし、お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ●カッター刃や氷押さえのスパイクは鋭利なので直接手で触れない。 ●お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない
⚠ 注意	
⚠	破損・故障のおそれあり ●氷を入れたまま本体を倒したり、さかさまに持ったり、置いたりしない。 ●ロックハンドルを持って持ち運ばない。
電動ふわふわ氷かき器 YSIA-F25  MUSEE 100V 50-60Hz  25W 定格時間 2分	この製品についてのお問い合わせは 「山善 家電お客様サービス係」 ●お電話(ナビダイヤル) ☎0570-077-078 ●Eメール info_m@yamazen.co.jp
2分以上の連続運転はおこなわない	
電流ヒューズ 1.6A 株式会社 山善 2018年製	
No.	MADE IN CHINA

氷ケース用注意シール
W70mm×H45mm

⚠ 警告	
⚠	けがのおそれあり ●カッター刃は鋭利なので直接手で触れない。 破損・故障のおそれあり ●カッター刃の取りつけネジは絶対にゆるめない。
	 ⚠ カッター刃に注意
⚠ 注意	
⚠	破損・故障のおそれあり ●氷は付属の製氷カップの水位線を守って凍らせた氷を必ず使用する。